

教育問題

児童100%朝食

問 家庭の教育力を高めるために「児童100%朝食」に取り組んではいかがか。

答 幼児や児童の「朝食抜き」は、大人側にその多くの責任がある。「朝食抜き」が習慣化すると、低体温や運動能力、学習能力の低下などの悪影響が現れるようになるという。平成15年度の兵庫県の生活・学習に関する実態調査で、小学生に「朝ごはんを食べていますか」という質問に対して、「いつも食べている」

が87.2%、「時々食べている」が8.6%、「あまり食べていない」が3.2%、「食べていない」が1.0%となっている。一方、全国調査では、「いつも食べている」が76.0%、「食べていない」が2.1%となっている。兵庫県は全国の調査結果より高い状況である。「児童100%朝食」の対応については、本来、その責任は家庭にすべてゆだねられているが、子どもの体に与える影響を考慮し、100%に近づけるべく保護者への啓発を行うことが教育委員会の責務と考えている。



▲安全な通学路の確保が必要(駅前町)

通学の安全確保

問 昨今、登下校時にいて幼い命が奪われる悲惨な事件が多発しており、子どもの安全確保に向けた取り組みが緊急の課題となっている。登下校時の安全確保のために、必要な地域へ路線バス活用の助成をしたり、スクールバスを導入する考えはないか。

答 本市は、地域も広く公共交通機関の利用が出来ない地域もあり、地域の皆さんのご協力を得て、登下校時の安全確保にご努力をいただいている。教育委員会としても登下校時に、子ども安全パトロール車を巡回するなど安全確保に努めているが、現在のところ登下校時の安全確保のための路線バスの活用やスクールバスの導入は考えていない。

今後は、国の動向を見据えつつ、警察などの関係機関とも連携をとって通学の安全確保に努めていきたい。

小学校男子トイレの個室化

問 男子児童が常に個室トイレを利用することで、いじめ解消策のひとつになると考えるがどうか。

答 現在、教育委員会では、市内の小中学校において、トイレといじめとの因果関係などの実態把握はできていない現状である。むしろ保健の授業などを通じて、排尿・排便は健康にとって欠くことのできない大切な生理現象であることを教えている。ただ、近年の生活環境の

変化の中で、家庭での洋式トイレの普及もある。この実情を把握するとともに、建築スタイルの変化がどのように学校現場に影響を及ぼしているのか研究をまず進めることも大切であると考えている。

下校時の安全対策

問 子どもに対する「声かけ」事案が集中して多いのが下校時の午後4時から6時である。この時間帯の安全対策についてどう強化するのか伺いたい。

答 下校時の安全対策については、現在、「子ども安全パトロール車」5台によって、下校時間帯を中心に巡回を行っている。また、市内685カ所の家庭や店舗を「子ども110番の家」とし、子どもたちが危険を感じたら、すぐに駆け込むことができるようにしている。

各小学校区では、PTAを中心に各種団体が連携しながら、児童の登下校時の立ち番やパトロールを実施していただいている。しかしながら、このような取り組みを行っているにもかかわらず、17年度中、三田警察署管内では子どもに対する「声かけ」事案などの発生があとをたたず、その多くは、午後4時から6時の間において発生している。

用語解説

■障害児学級センター校

三田市では、障害の多様化・重複化に対応するため、昭和49年から、三輪小学校と八景中学校を障害児学級センター校と位置付けてきました。センター校では、養護学校における「重度重複障害児」に準ずる子どもを市内全域から受け入れることのできる体制を整備してきました。現在、小学校のセンター校は富士小に移設することが決まっています。

障害児学級センター校移設

問 軽度障害児に対する支援は、障害児学級センター校においてはどのようにされるのか伺いたい。



▲交通ルールを学ぶ交通安全教室

各市民センターなどで市議会

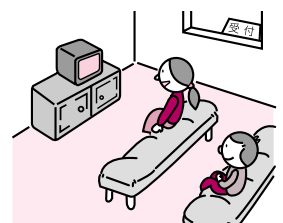
本会議中継がご覧になれます!!

市議会では、開かれた議会をより一層推進するため、本会議の模様を左記の施設に設置しているテレビで同時放映しています。

お住まいの最寄の施設では是非お気軽にご覧下さい。なお、次の放映予定は、6月定例会です。本会議の放映時間など、詳しくは議会事務局まで
(☎559-5162 直通)

(放映場所)

- 市役所本庁舎1階ロビー
- フラワータウン市民センター2階ロビー
- 広野市民センター1階談話コーナー
- 藍市民センター2階談話コーナー
- 高平ふるさと交流センター1階ロビー
- 総合福祉保健センター1階ロビー
- ウッディタウン市民センター1階ロビー
- まちづくり協働センター6階情報交流広場モニター



きいてみませんか 議会出现講座

市議会の仕事について、皆さんは日ごろ見聞きする機会が少ないかもしれません。しかし、市議会は豊かですみよい三田市を実現するために、福祉や医療、環境、経済、公共事業など、市政の基本的事項について、市議会議員が話し合い、決めていく大切な場です。この機会にぜひ、議会について勉強してみませんか。議会事務局職員が皆さんの最寄の市民センターや公民館などにお伺いして議会のしくみなどをお話します。また、議場の見学も行っておりますので、市役所に来ていただいた講座も可能です。まずは、議会事務局(☎559-5162)までお問い合わせ下さい。